

医師が担う様々な医療

外来医療

医療機関で受付をして、診察、検査、注射、処置、処方などを受け、会計を行うというのが外来診療です。また、夜間や休日に休日夜間診療所等で受ける、急を要する診療や救急車で搬送された重症な患者さんに対し病院で行う救急外来診療もその一つです。

フリーアクセス

日本の医療は、だれでも、いつでも、どこでも自由に医療機関を受診できる「フリーアクセス」が一つの特徴です。しかし、この制度が患者さんの大病院志向や安易な（コンビニ）受診などを引き起こし、病院に勤務する医師が外来や救急の対応に追われ、長時間勤務を余儀なくされているといわれています。適正な受診をお願いいたします。

全人的医療

病気だけではなく、身体・心理・社会的立場などあらゆる視点から捉え、一人ひとりに適した医療を実践することで、厚生労働省は、大病院と中小病院・診療所における外来医療を、高度な医療を必要とする患者さんへの「専門的な診療」と生活習慣病など慢性疾患を抱える患者さんへの「全人的かつ継続的な診療」の2つに分けて機能分化を進め、連携していくことを目指しています。

在宅医療

患者さんの自宅などで受ける医療のことで、医師が患者さんの自宅などに出向いて行う診療が「往診」や「訪問診療」です。

・往診

医師が患者さんの急変等で呼ばれたり、診療上必要があると判断した時、予定外に患者さんの自宅などに赴いて行う診療が「往診」です。

・訪問診療

在宅医療を行う患者さんで、疾病や傷病のため通院が困難な方に対し、医師があらかじめ診療の計画を立て、患者さんの同意を得て、定期的（例えば1月に1回あるいは2週間に1回など）患者さんの自宅などに赴いて行うのが「訪問診療」です。

かかりつけ医

日本医師会では「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこゝ」を「かかりつけ医」と呼んでいます。いざという時に困らないためにも、健康診断などに行く機会を利用して、自宅や職場の近くに「かかりつけ医」を見つけておきましょう。

定期的な訪問診療で
何でも相談できる

24時間の往診対応で
救急時も安心

専門外の病気でも
適切な医療機関を
紹介してくれる

自宅で最期を迎える
看取りにも対応



入院医療

・急性期病院

急性期入院医療を提供する機能を持ちます。「急性期」とは病気が発症し急激に健康が失われた状態をいい、発症後おおよそ14日以内が急性期の目安とされています。すなわち、急性疾患又は重症患者の治療を24時間体制で行う病院のことを指します。

・回復期病院

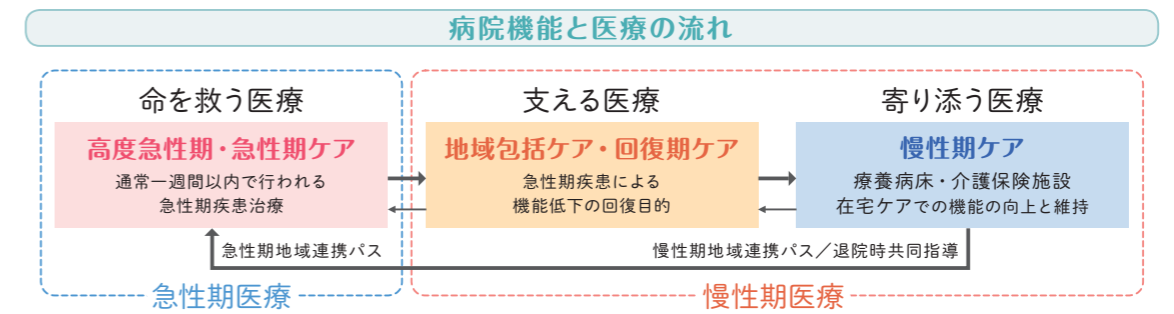
集中的なリハビリの提供や自宅等への退院支援機能を持ちます。「回復期」とは脳血管疾患や、骨折、その他の病気に罹り、急性期治療を終えて症状が安定し始めた状態をいいます。回復期リハビリテーション病棟や地域包括ケア病棟がその役割を担います。

・慢性期病院

長期療養を要する患者さんへの入院医療を提供する機能を持ちます。「慢性期」の医療を提供する病院は、病気の治療を継続し、リハビリテーションによる自立支援をする場です。高齢者が暮らす生活空間とは違うので、この切り分け（機能分化）から『介護医療院（30ページで紹介しています。）』が誕生しました。

病院の機能分化と連携

地域医療を支えるために、病院は機能分化・連携し、それぞれのステージにおける医療の提供を目指しています。



地域医療を支えるために

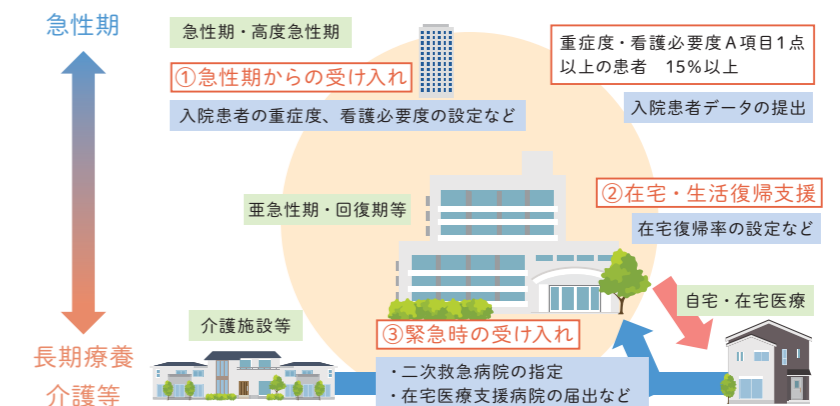
- ステージに応じたケアを提供する!
- 地域における施設間・職種間で連携を強化!
- チーム医療の一員として、専門職としての役割を果たす!

地域包括ケア病棟

地域包括ケアシステムを視野に入れた地域包括ケア病棟は、急性期病院からの「ポストアキュート機能」、介護施設や自宅からの「サブアキュート機能」と在宅医療に向けた「在宅・生活復帰支援機能」を担います。

地域包括ケア病棟の主な役割

※介護施設等、自宅・在宅医療から直接、急性期・高度急性期の病院へ入院することも可能



profile

公益社団法人 群馬県医師会 住所:群馬県前橋市千代田町1-7-4 TEL:027-231-5311 FAX:027-231-7667
E-mail: gmoffice@mail.gunma.med.or.jp HP: http://www.gunma.med.or.jp

